

# 2018年 1月号 おおきくなあれ

岐阜市芥見大般若1丁目84番地 河村病院 病児保育園クララ  
HPアドレス <http://www.kawamuramedical.or.jp>



No. 214



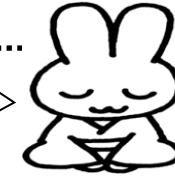
2018年が始まりました。昨年の暮れからインフルエンザが流行り始めましたが、皆さんの御家庭では元気でお正月が迎えられましたか？今年も成年…♪～い～ぬは喜びにわ駆け回り～♪の歌のように、どの子も元気いっぱい走りまわって遊べる一年だといいですね。私たちスタッフ一同は、今年もあたたかみのある保育看護を心がけ、“♪～ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワン♪”の子どもたちと、一期一会の出会いを大切にしながら、頑張っていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いたします。クララ通信「おおきくなあれ！」も、よろしくだワン！



感染症で病児保育を利用されるお子さんは、完治まで隔離室での保育となるので、毎日保育士とほぼ1対1の濃厚な触れ合いの中で過ごすことになります。保育士たちは、限られた環境の中でも頑張ってくれている子どもたちの為に、日替わりであの手この手の保育を工夫します。保育士にとっては、自分の得意分野を生かして保育することのできる、良いチャンスでもあります。担当保育士は毎日入れ替わるので、どのスタッフとも、「いい出会い」となってくれるといいな…と、日々思っています。が、時にはとんだ失態がお子さんにはばれてしまうことも…。先日も、水痘で来所したY君(6歳)と、食事の準備をしていた時に、そそっかしい保育士が、ついっっかり麦茶のポットを倒してしまいました。慌てて拭き取る保育士を見て…「先生でも、こういうことあるやねえ」と、心なしか嬉しそう？にもみえる表情でつぶやいたY君(笑)…そうなんです！よくあるんです(^.^)…。保育士が「あ～あ、またやっちゃったあ」と情けなさそうにつぶやいていると、Y君は、保育士の気持ちを察してくれ、「あっちの部屋の先生には内緒にしといてやるわね」と言ってくれました。なんと優しい…これぞまさしくはよりの忖度？…Y君ありがとね。(でも、あっちの部屋の先生たちには、少なくなった麦茶ですでにバレバレでした～)(ToT)

## 咽頭結膜熱(プール熱)

今年は冬期も患者が急増しています！

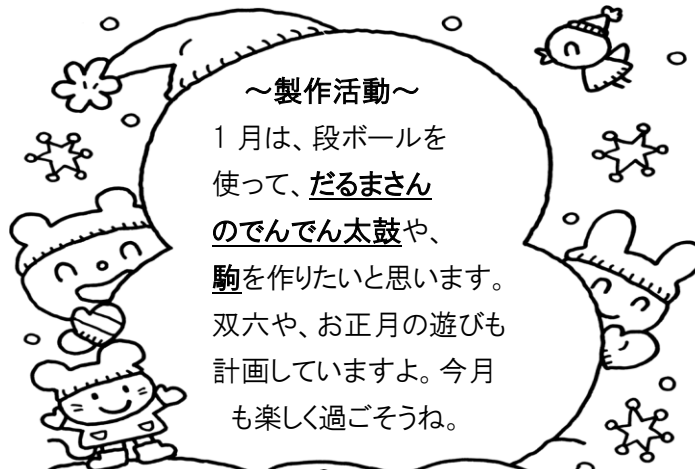


春先にも、お伝えしましたが、咽頭結膜熱は、夏季に流行するイメージがありますが、年によっては冬季に大きい流行が見られることがあります。県内の小児科定点医療機関からの患者報告数からみますと、今年の冬は、すでに夏のピーク時を上回る患者数となっており、また、過去10年の同時期と比べて最も高い値となっているそうです。患者の年齢は1～4歳が多くなっています。感染経路は飛沫感染、または手指を介した接触感染で、発熱、咽頭炎、結膜炎が主な症状です。クララでも、昨年末に、この病気で来所されたお子さんが何人かみえ、39度近い熱が三日ほど続いたお子さんもありました。お正月までに回復されていればよいのですが…。予防策は、感染者との濃密な接触を避け、流水と石けんによる手洗いを励行することです。高熱と、目の充血が見られたら要注意！早めにかかりつけさんを受診してくださいね。



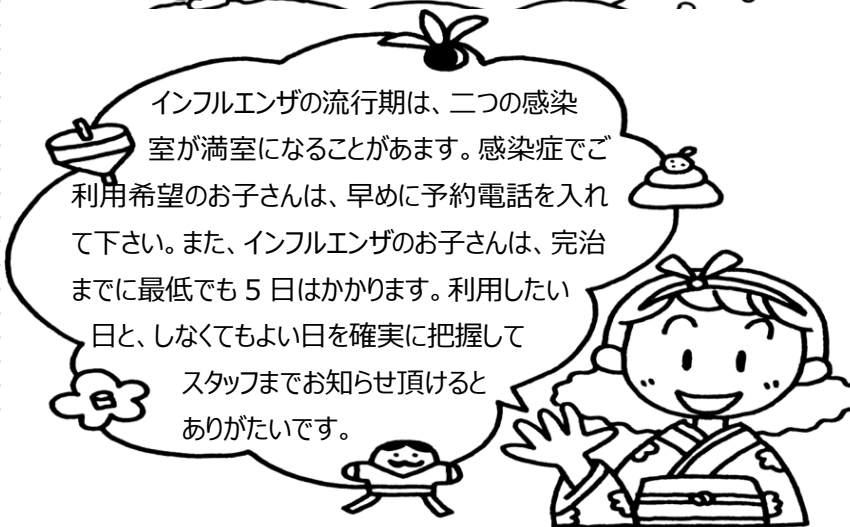
## ～製作活動～

1月は、段ボールを使って、だるまさんのでんでん太鼓や、駒を作りたいと思います。双六や、お正月の遊びも計画していますよ。今月も楽しく過ごそうね。



## インフルエンザの流行期は、二つの感染

室が満室になることがあります。感染症でご利用希望のおさんは、早めに予約電話を入れて下さい。また、インフルエンザのおさんは、完治までに最低でも5日はかかります。利用したい日と、しなくてもよい日を確実に把握してスタッフまでお知らせ頂けるとありがたいです。



あけましておめでとうございます。皆様にとって健康で楽しい日々でありますよう、お祈り申し上げます。新しい年を迎え、東京オリンピックの開催がまた一つ近づき、年号の発表なども楽しみなことですね。

年の初めに当たり、今回はちょっと大きなテーマについて考えてみました。日本の将来、世界の情勢についてです。このところ、少々先が見えなくなっているように思います。一日一日、無事を確認するような日々が続き、そんな中でやはり一番心配なのはお子様の将来のことです。これから子どもたちはどのように生きていくのでしょうか…。一人一人が自分をしっかり磨き、どんな困難にも立ち向かえる強さを身に付けて、自分の身は自分で守ることのできる、そんな大人になっていくことが求められます。それにはやはり、幼少期である今の時代をしっかり生きることが大切です。身近なことと言えば…①手荒い、歯磨き、着替え、入浴、整理整頓、など、基本的な日常生活習慣を自分できちんとできる、②家族、友達、学校、地域などと深く関わり、生活の中から知識を高め、世の中の情報を知る、③遊びやスポーツを通して運動能力を高め心身共に鍛える…などがあるのではないのでしょうか。自分磨き…本当に重要です。特に多くの幼い子どもたちと関わることの多い私たちの責任は重く、私自身の「自分磨き」も重要であることを、年の初めに痛感しております。

—以上仲岡ナースのつぶやきでした!(^^)!

